

現代日本語にあって現代中国語に欠落している字順の逆転する二字漢語「AB-BA」の出自について —国語辞典の初出例の出典の問題—

馬雲

本発表は、「AB-BA」のように字順の逆転する二字漢語について、『岩波国語辞典 第七版』（以下、『岩波』）には見出し語として立項されているが、現代中国語の辞書である《現代漢語詞典 第6版》（以下、『現代』）には見出し語としていずれも立項されていない語を調査対象とする。これらの二字漢語の古代中国語の文献での使用の有無について確認し、古代中国語で使用されていた場合、その漢字語彙の使用の減少原因について考察し、古代中国語で使用されていなかった場合は、当該の漢字語彙が和製漢語である可能性について検討することを目的とする。

『岩波』と『現代』を調査対象として、『岩波』の見出し語にある二字漢語「AB-BA」のうち、『現代』の見出し語としていずれも立項されていない「AB-BA」を244語（122組）抽出した。「AB-BA」が古代中国語として使用されていたか否かを確認するために、『大漢和辞典』（以下、『大漢和』）を用い、立項の有無と用例の有無を調査した。『大漢和』で立項されていない語と、立項されていてもその用例が示されていない語については、『日本国語大辞典第二版』（以下、『日国』）で調査し、『日国』での立項と用例の有無を確認した。『日国』において用例の出典が日本の文献による語を中国語の辞書である《漢語大詞典》（以下、『大詞典』）で再調査した。

その結果、『大漢和』の見出し語として立項され、かつその用例が中国の文献にみられる123語は、古代中国語として文献上で使用されていたことが明らかになった。立項されていない語と立項されているが用例が示されていない語を『日国』で再確認すると、明治時代以降の日本近代の文献に典拠のある用例が多い。『現代』と『大漢和』の見出し語として立項されていない語が現代中国語の辞書の見出し語においても欠落している理由の一つとして、その漢語の出自が日本の近代以降の文献によるものであるということが考えられる。